



可愛らしく踊る年長の女の子たち

ひなまつり会

3月3日、市内各保育所にて、ひなまつり会が行われました。これは「桃の節句」と言われて女の子が可愛らしく元気に育ってほしいと願いを込めてお祝いをする「ひなまつりの日」です。

大藤保育所では、年長のお兄さんとお姉さんが年中・年少のお友達を招きクイズなどを楽しみました。

その後、この日のために年長のお姉さんは、自分達で考えた振り付けをひなまつりの曲に合わせて踊りを披露し、ひなまつり会を楽しみました。

ちょっと一息
“防災”

防災クイズに挑戦してみませんか？

問題 降水確率 50%と 90%では、雨が強く降るのはどちらでしょうか？

①

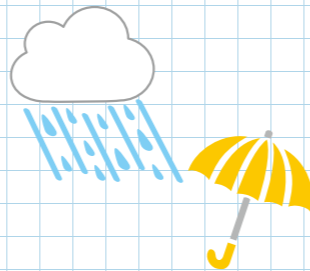
50%

②

90%

③

どちらとも
いえない。



答えは P9 の下をご覧ください。

やとみ 歴史探訪

このコーナーでは、弥富市のまだまだ知られざる歴史について、弥富ふるさとガイドボランティアが紹介していきます。

荷之上的力石

荷之上公民館の敷地内に、表面に「力」と彫られた大きな石があります。昔は神社や若者の集まる場所に、よくこのような「力石」がありました。1個 100～150kgの丸みのある細長い石が多く、若者はこれを担ぐなどして力比べをしていました。

市内の力石の多くは残っておらず、荷之上的ものは市内に現存する数個のうちの1つです。

古老の話によると、現在の公民館の北東辺りに集会所や神楽部屋、火の見櫓などがあり、この力石もその場所がありました。明治から大正時代に若者が競って力比べをしていたそうですが、昭和になってからは持ち上げる若者はほとんどいなくなってしまうということです。

力石は伊勢湾台風の前に現在地に移され、公民館を建設する時に「力」という文字を彫って設置されました。



▲荷之上的の力石



表彰を受ける弥富ふるさとガイドボランティアの皆さん

地域づくり活動が表彰されました

1月22日、愛知県立大学にて、「令和元年度愛知県地域づくり活動表彰式」が行われ、市からは、弥富ふるさとガイドボランティアの皆さんが受賞されました。これは、地域づくり活動を10年以上にわたって行っており、地域の活性化や地域づくりに顕著な功績のあったと認められた地域づくり団体に贈られるものです。

弥富ふるさとガイドボランティアの皆さんは、ガイド活動や市のイベントなどにおいて、特産品「弥富金魚」や地域の歴史、文化などを幅広く市内外へ魅力発信しています。また、会員の多くが伊勢湾台風を経験していることから、その体験を市民に伝えていることで、災害の教訓を後世に伝えることに貢献しています。



栄南学区みまもり隊ひまわりの活動発表

地域づくり補助金説明会&活用団体交流会

2月8日、総合社会教育センターにて、「地域づくり補助金説明会&活用団体との交流会」を開催しました。地域づくり補助金は、地域の活性化と市民と行政との協働のまちづくりを推進するため、地域づくりを自主的かつ主体的に行う公益的なコミュニティ活動を支援する補助金です。

説明会には、補助金を活用している団体会員や市民が45名ほど参加しました。「栄南学区みまもり隊ひまわり」や「AMAKARA塾」の2団体が、日頃、地域のために行っている活動の発表をし、参加者は熱心に耳を傾けていました。

また、発表後には交流会を行い、日頃の活動の紹介や今後やってみたい活動など話し合い、親睦を深めていました。

理科の学習教材を贈呈

昨年12月4日、木曾岬メガソーラー株式会社より、市内の全小中学校へ理科の学習教材を贈呈いただきました。これは、2014年より愛知県と丸紅株式会社が進めている木曾岬干拓地でのメガソーラー発電に伴う地域貢献の一環として毎年行われている取り組みです。

木曾岬メガソーラー株式会社代表取締役の田中氏は、「この教材が生徒たちの好奇心を掻き立て、明るい未来を築く礎になれば嬉しい限りです。」と、思いを述べられました。



田中氏より教材を受け取る日の出小学校の服部校長(右)

市ホームページ内フォトギャラリーや公式ツイッターでもまちの話題を紹介しています!



▲桜並木
(総合社会教育センター)